

わかりやすい予算書

— ことしのよさん —

飯 豊 町

2020

目次

01	飯豊町気候非常事態宣言
02-03	当初予算の概要
04-05	一般会計の歳入・歳出内訳
06-11	主な事業
12-13	財政健全化指標

飯豊町気候非常事態宣言



国連気候変動政府間パネル(IPCC)によると、地球の平均気温は産業革命前からすでに1℃上昇しており、気候変動の脅威に世界全体で対応する「パリ協定」で合意された、平均気温上昇の抑制努力目標である気温上昇1.5℃まで、早ければ10年後にも到達するとの警鐘を鳴らしています。

近年、地球温暖化が原因と見られる気候変動による災害が激しさを増しています。豪雨による土砂災害や洪水被害、大規模な干ばつや熱波など、異常気象による災害が世界各国で発生し、各地に甚大な被害をもたらしています。

本町においても、短時間での局所的な豪雨が増加傾向にあるなど、災害のリスクは年々増大しているほか、夏季の少雨による水不足や冬季の記録的な少雪など、本町の基幹産業である農業に与える影響も深刻さを増しています。

このような背景から、本町は気候変動が私たちの暮らしにとって著しい脅威となっていることを認識し、ここに気候非常事態を宣言します。この危機的な状況に向き合い、飯豊連峰と清流白川が織り成す豊かな大地を舞台として、先人の苦勞と知恵により幾世代にわたって受け継がれてきた暮らしを、次世代に持続的に引き継いでいくために、次の活動に取り組みます。

- 1 バイオマス資源など、本町に適した環境負荷の少ない再生可能エネルギーを最大限活用することで、地域経済の好循環を構築するとともに、脱炭素社会の実現に向け、分散型エネルギーによるクリーンで災害に強い町を目指します。
- 2 気候変動問題に関する普及啓発や教育に努め、日々の生活での省エネルギーやごみを減らす4R運動であるReduce(ごみの排出抑制)、Reuse(再利用)、Recycle(再資源化)、Refuse(ごみの発生回避)の徹底を一層推進します。また、断熱性能に優れたエコ住宅での暮らし、地産地消や環境に配慮した消費行動など、気候変動対策に資する取り組みを推進します。
- 3 森林資源の適切な管理や、農地を適切に保全していくことで、良質な森・川・里・海の繋がりを守り、「日本で最も美しい村」の豊かな暮らしを次世代へ引き継ぎます。
- 4 日本政府や他の自治体、関係機関に対し、「気候非常事態宣言」についての連携を広く呼びかけます。

令和2年3月17日

飯豊町長 後藤 幸平



「気候非常事態宣言」は、近年の世界各国に広がりを見せる異常気象を受け、2016年にオーストラリアの地方都市が宣言。2019年9月には長崎県壱岐市が国内初の気候非常事態を宣言し、その後、多くの自治体に広がりました。

こうした事態を踏まえ、「SGDs未来都市」に選定された本町においても「気候非常事態宣言」を行い、町としての社会的責任を果たしてまいります。

当初予算の概要



飯豊町役場庁舎

自治体の1年間の予算

予算とは、4月から翌年の3月までの1年間の収入と支出の見積もりです。新しい年度が始まる前に、その1年間でどのくらいの収入があるのか、1年間の行政サービスをどのように行うのかを計画し、そのために使うお金を見積もります。予算を見れば、1年間に飯豊町でどのような収入があり、何に使っていくのかがわかります。

飯豊町の2020年度予算

一般会計、特別会計、企業会計すべての会計を合わせた金額は、98億8,703万円です。

特別会計には、国民健康保険特別会計や介護保険特別会計、下水道事業特別会計などがあります。特定の収入(保険料など)によって賄われている事業は、一般会計とは分けて経理します。

一般会計とは、飯豊町の行政サービスの基本的な分野、福祉や教育、道路整備などの収入と支出を管理する会計です。

一般会計
65億9,200万円
前年度比 ▲24.4%
前年度比 ▲21億2,600万円

企業会計は、民間企業と同じように事業収入によって運営する会計です。飯豊町では、水道事業会計があります。

企業会計
5億1,905万円
前年度比 +76.6%
前年度比 +2億2,517万円

特別会計とは、特定の目的のための会計で、特定の収入があり、一般会計とは区別して、収入と支出を経理する会計です。飯豊町では、国民健康保険特別会計、後期高齢者医療特別会計、介護保険特別会計など、11の特別会計があります。

特別会計
27億7,599万円
前年度比 ▲0.3%
前年度比 ▲727万円

予算編成の方針

2020年度予算の歳出は、飯豊中学校大規模改修事業は継続して行うものの、新産業集積事業の貸工場建設や住宅団地整備事業、畜産生産拠点整備事業などの終了により、投資的経費が大幅に減額されました。一方、会計年度任用職員制度の導入により、義務的経費は増額され、国県支出金や町債のほか、財政調整基金を始め各種基金を活用します。

持続可能な財政運営を確保するため、「最少の経費で最大の効果を挙げる」という行財政運営の基本を踏襲し、飯豊町が直面する課題に立ち向かい、道を切り拓いていかなければなりません。そのため、「第4次飯豊町総合計画」、「飯豊町まち・ひと・しごと創生総合戦略」の実現を目指して、施策の計画的な実行に向け、機を逸することなく必要な投資を行う予算編成となりました。



令和2年度予算書

予算の決め方と変え方

町長がまとめた予算案を町議会で審議し、議会の議決によって予算が成立します。町長が各課で出された案を自分の考えにそってまとめ、予算案として町議会に提出します。町民を代表する町議会は、提案された予算案を様々な面から審議した上で、議決します。

年度の途中で状況の変化や新しい事態などの変化に対応するために、予算を追加したり、削減したりする予算を「補正予算」といいます。当初予算と同様に議会の議決を受けて決まります。



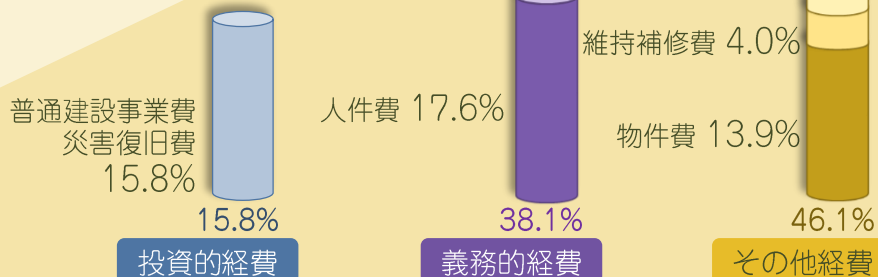
飯豊町議会議場

一般会計の歳出内訳(性質別)

歳出予算はサービスの性質別に分類でき、飯豊町の2020年度予算65億9,200万円は、次のようになります。

一般会計予算総額に占める人件費、公債費など必ず支出しなければならない義務的経費の割合は38.1%です。

道路や公共施設の新増設の建設事業に必要とされる投資的な経費である普通建設事業費及び災害復旧費は、一般会計予算総額の15.8%となっています。



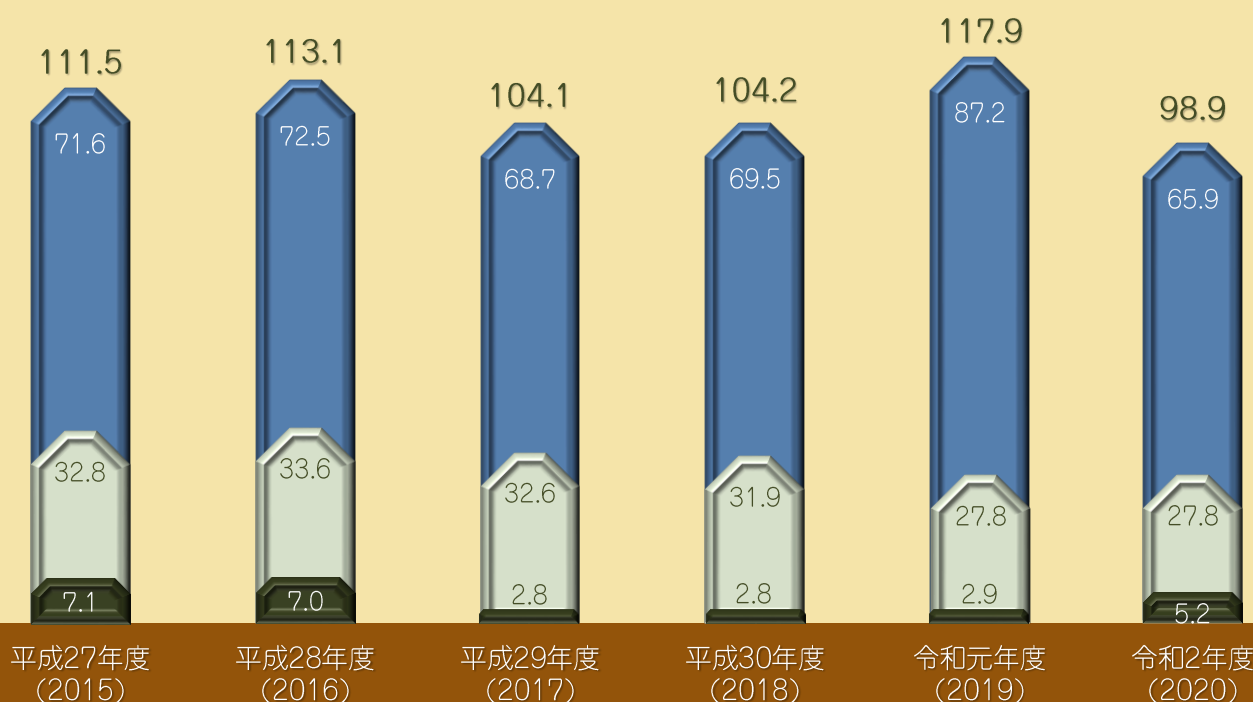
当初予算の推移

一般会計

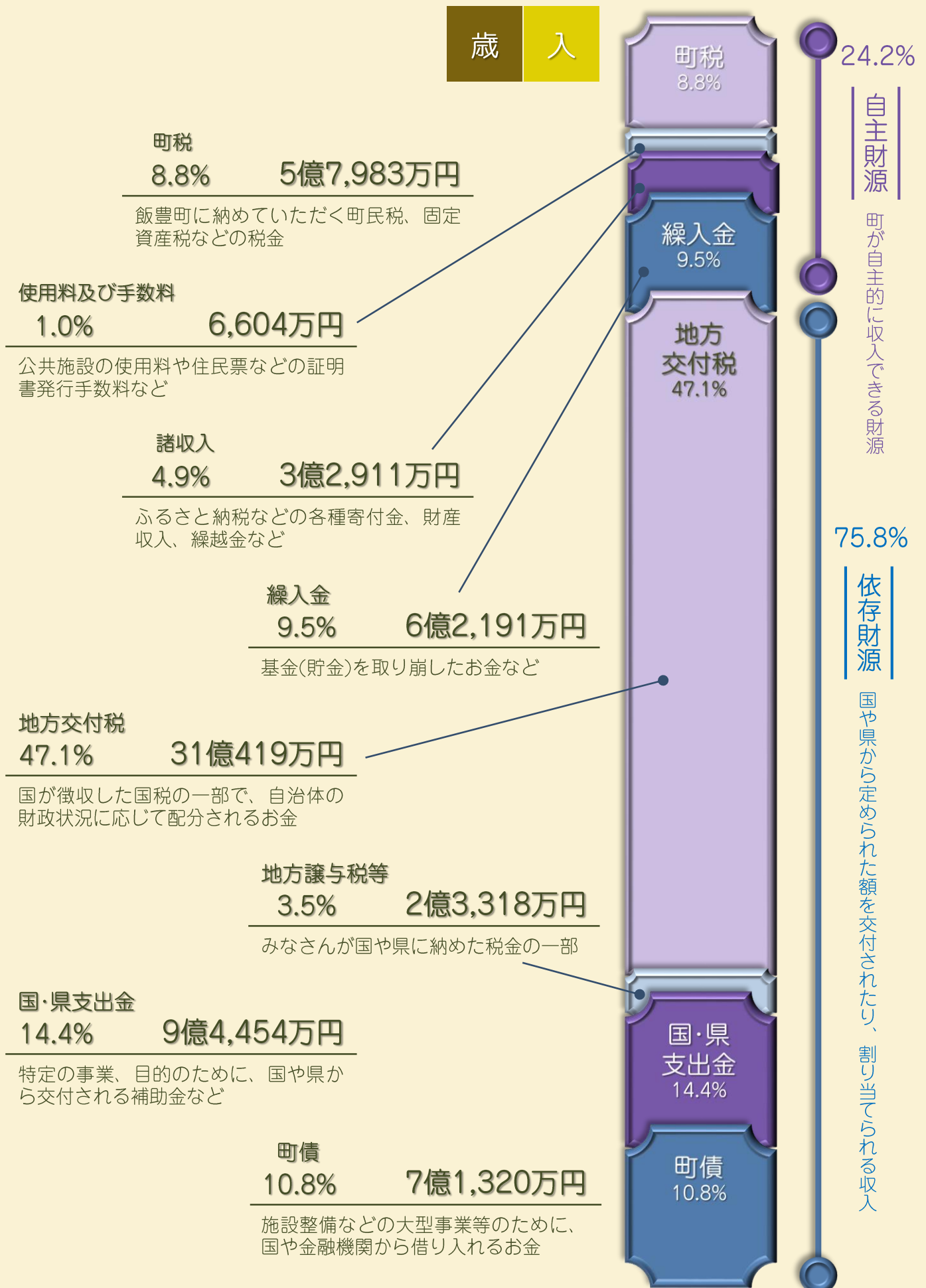
特別会計

企業会計

単位：億円



一般会計の歳入・歳出内訳



歳出をサービスの内容区分ごとに分類したものを、歳出の「目的別」の分類といい、民生、教育、土木など13の目的の歳出があります。

2020年度は、子育て支援医療給付など民生費が20.0%、飯豊・農の未来事業などの農林水産費が13.9%、飯豊中学校大規模改修事業などの教育費が12.8%となっています。

歳 出



総務費

13.1% 8億6,230万円

役場庁舎の管理や町有財産の維持管理、税金の徴収、戸籍管理、選挙など



民生費

20.0% 13億1,678万円

障がい者や高齢者の福祉サービス、子育て支援、生活保護など



農林水産費

13.9% 9億1,433万円

農業、林業の振興など



商工費

5.9% 3億9,111万円

商工業・観光の振興、中小企業の支援、企業誘致など



土木費

10.0% 6億6,247万円

道路、河川の維持管理や整備、除排雪、公営住宅の管理など



教育費

12.8% 8億4,155万円

小中学校の環境整備、生涯学習、文化財やスポーツ振興など



公債費

13.8% 9億1,344万円

国や金融機関からの借入金の返済



その他

10.5% 6億9,002万円

議会運営、ごみ処理などの環境保全、消防や災害復旧費など





山形大学xEV飯豊研究センター

1億7,557万円

飯豊電池バレー構想

山形大学xEV飯豊研究センターを軸とした「飯豊電池バレー構想」では、リチウムイオン電池関連企業誘致による蓄電デバイス関連産業の集積を図るとともに、既存企業の事業拡張を支援していきます。

2019年度から東山工業団地に整備を進めている新産業集積事業貸工場が2020年度に完成します。山形大学xEV飯豊研究センターなどで開発された製品の製造工場として、地域経済雇用確保の好循環を生み出していきます。

また、モビリティシステム専門職大学の認可が受けられるよう申請主体の学校法人赤門学院などの関係機関と連携して準備を進めていきます。この取組により、若年層の転出抑制や首都圏から地方への人の流れをつくり、「飯豊電池バレー構想」の実現と地域経済と雇用確保の好循環による農山村の経済的な自立を目指していきます。



建築中の貸工場

こだわりの産業づくり
可能性をひらく種



8 働きがいも経済成長も
17 パートナーシップで目標を達成しよう

こだわりの産業づくり
縁をつむぐ種



白川ダム湖

1,098万円

地域連携DMO等による観光交流

延期が決まった「東京2020オリンピック・パラリンピック」や、2021年4月からJRとタイアップした「東北デスティネーションキャンペーン」など、国内外からの旅行客の増加が見込まれます。

2019年2月、長井市、南陽市、白鷹町と協力し、「一般社団法人 やまがたアルカディア観光局」を設立しました。観光事業者や関係団体との広域連携により、個々の地域資源の魅力を相乗させ、「滞在交流型旅行商品」を造成、販売し飯豊町への誘客を図ります。

また、地域おこし協力隊を配置し、新たな観光資源の掘り起こしやアウトドア体験メニューの開発、地域の暮らしや文化体験を組み合わせた旅行商品開発を行っていきます。



7 エネルギーをみんなに
そしてクリーンに



11 住み続けられる
まちづくりを

イメージ写真

 こだわりの産業づくり
郷土をたがやす種

1億6,604万円
(2019年度からの繰越予算)

家畜排せつ物等を利用したバイオガス発電事業プロジェクト

米沢牛の約4割を生産する主産地として確固たる地位を築き上げる飯豊町。畜産をさらに発展させるため、民間事業者が主体となり、添川地内(眺山)において「家畜排せつ物等を活用したバイオガス発電事業プロジェクト」に取り組みます。2019年度からプラント建設に着手し、2020年度に稼働します。隣接する畜舎から出る家畜排せつ物をパイプラインで直接バイオガスプラントに搬入し、メタンガス化し発電します。臭気を抑制するこの手法は、畜産業の環境改善も目的にした取組です。



4 質の高い教育を
みんなに



17 パートナシップで
目標を達成しよう



2 飢餓を
ゼロに



15 陸の豊かさも
守ろう




地域の未来をデザイン中

 にぎわいあふれるまちづくり
人をはぐくむ種 **418万円**

第5次飯豊町総合計画策定

2019年度から着手した第5次総合計画策定を継続していきます。1974年の総合計画「手づくりのまち いいで」を基本理念とする住民主体のまちづくりを踏襲すると共に、自らの地域をデザインしていく地区別計画の策定を行っていきます。



 こだわりの産業づくり
郷土をたがやす種 **3,191万円**

飯豊・農の未来事業

2015年に開始した「飯豊・農の未来事業」は6年目を迎えます。稲作から他の土地利用作物への転換や水田の有効活用、担い手の育成など、新たな農業を切り拓き持続可能な農業の実現に向けて取り組みます。

2,267万円



分譲中のエコタウン椿



にぎわいあふれるまちづくり
縁をつむぐ種

移住定住の推進

人口減少対策として、町への移住促進と、住み続けたい環境づくりを進めています。

2019年11月に、2つの住宅団地の分譲を開始しました。「エコタウン椿」は、低エネルギー型で、地域経済の循環を促した新しいビジネスモデルとして、快適で自然と調和した「飯豊らしい豊かな暮らし」を体現していきます。

首都圏での移住フェアにおける飯豊町の紹介や、首都圏在住の女性を対象に、飯豊町の暮らしと魅力を体験するツアーを実施しています。「ふるさと定住いいですね条例」では、住宅取得奨励や、お子様の入学、結婚などの人生の節目における祝品贈呈により、町での暮らしを応援します。



にぎわいあふれるまちづくり
世代をつなぐ種

6,614万円



母子保健、子育て支援医療給付

「飯豊町子育て世代包括支援センター」を拠点として、妊婦期から子育て期までの様々な悩み等に対応していきます。2020年度からは新たに、母親の身体的回復と心理的安定のための「産後ケア事業」を実施します。

また、県内でも早い段階から実施してきた年齢18歳までの医療費の無料化や、重度心身障がい児やひとり親家庭等の医療費助成により、子育て世代等の経済的負担軽減を図っていきます。



にぎわいあふれるまちづくり
人をはぐくむ種

1,321万円

地域づくり推進事業

各地区が「地区別計画」における目標の実現に向けて行う地域の取組に「地域づくり推進事業費補助金」を通して支援していきます。

2020年度は、10年間の「地区別計画」の最終年となります。自分たちの地域は自分たちの手で作り上げる「手づくりのまち いいで」の取組を進めていきます。





豊かな感性を育むまちづくり
人をはぐくむ種 **1億9,769万円**

飯豊中学校大規模改修

平成3年度の校舎建設から、約30年近く経過した飯豊中学校。子どもたちの教育環境を整えるために、2019年度から改修工事に着手しています。2020年度は、屋根や外壁、トイレの改修、エアコン設置などを行い、子どもたちにとって、より良い教育環境の提供を行います。

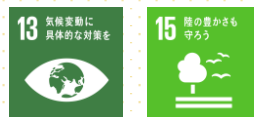
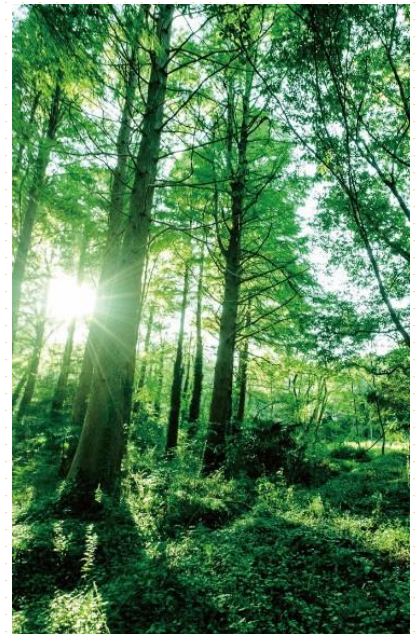


自然と共生するまちづくり
郷土をたがす種

1,992万円

森づくり支援・森林整備

森林環境譲与税や山形県みどり環境税を活用し、林業の成長産業化と森林資源の適切な管理の両立を図ります。森林の保安全管理や計画性を持った資源の有効活用、荒廃した森林の整備、里山の下刈りなどにより、人と野生鳥獣の生活圏を分ける緩衝地帯を整備し、有害鳥獣や森林病虫害による農林産物被害の抑制を目指します。バイオマス産業都市として、木質バイオマス燃料の供給体制確立、公共施設等でのバイオマス燃料への転換など、木質バイオマス資源の総合体制整備を進めていきます。



安全・快適なまちづくり
郷土をたがす種 **2億3,266万円**

除排雪事業（道路、高齢者支援）

冬期間の道路交通を維持するため、道路の除雪や消雪を行い、安全・安心な生活を確保します。高齢者世帯等には、除雪ヘルパーの派遣等を通じて支援していきます。

1,405万円

次代に対応した教育環境構築



豊かな感性を育むまちづくり
人をはぐくむ種



グローバル化に対応した人材の育成、プログラミング教育の実施に向けたICTコーディネーターの配置、外国語指導助手2名体制を継続し、質の高い教育を追求していきます。

500万円

ハザードマップ作成事業



安全・快適なまちづくり
郷土をたがやす種



増水した河川

地球環境の変化、頻発する大規模災害に備えるため、地域防災計画の見直しを行い、最新の情報による実効性のある洪水ハザードマップを作成し、安心して暮らせる環境整備を図ります。

289万円

みどりのまちづくり



自然と共生するまちづくり
郷土をたがやす種



田園散居集落景観

失ったら二度と取り戻せない飯豊町の美しいみどりの自然景観や屋敷林に囲まれた散居集落の田園景観。この宝物を次世代へ引き継ぐために、景観条例の制定、景観計画の策定に取り組んでいきます。

764万円

高円寺チャレンジショップ運営事業



こだわりの産業づくり
縁をつむぐ種



アンテナショップIIDE

2014年に杉並区高円寺にオープンした「高円寺純情コミュニティーカフェ&ショップ IIDE」が2019年にリニューアルオープンしました。本町産の美味しいつや姫で作る「おにぎり」販売を中心に、全国へPRしていきます。

ご紹介した事業以外にも、飯豊町ではたくさんの事業を展開しています。

354万円

飯豊町歴史文化基本構想の具現化



生きがいと笑顔のまちづくり
世代をつなぐ種



岩倉神社仁王像

2015年度から多面的な調査を進め、飯豊町の文化財保護、活用の方向性を定めた「飯豊町歴史文化基本構想」が2019年度に完成しました。2020年度は、古文書、民俗資料の整理や目録作成、再収蔵業務を進めていきます。

1,551万円

老朽危険空き家対策



安全・快適なまちづくり
郷土をたがやす種



イメージ写真

本町のみならず、全国的な課題となっている老朽危険空き家。2018年度に策定した「飯豊町空き家等対策計画」に基づき、空き家の適正管理と利活用を促し、老朽危険空き家の解体に向けた対策を進めます。

1,231万円

地域おこし協力隊による地域力強化



にぎわいあふれるまちづくり
縁をつむぐ種



「飯豊とふれあい、つながる旅」

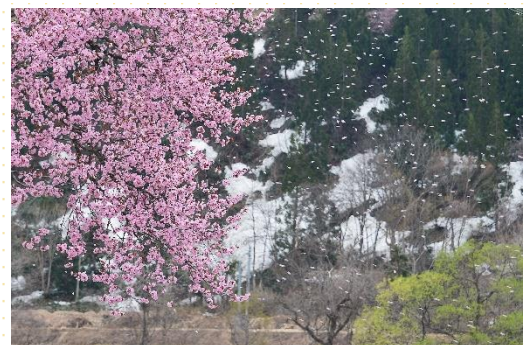
2019年度、地域おこし協力隊1名が移住定住コンシェルジュとして、飯豊の暮らしを体験するイベント企画などの活動を行いました。2020年度、更に2名を受け入れ、新たな観光資源の掘り起こしになど取り組んでいく予定です。

353万円

「きぼうの桜」植樹



豊かな感性を育むまちづくり
人をはぐくむ種

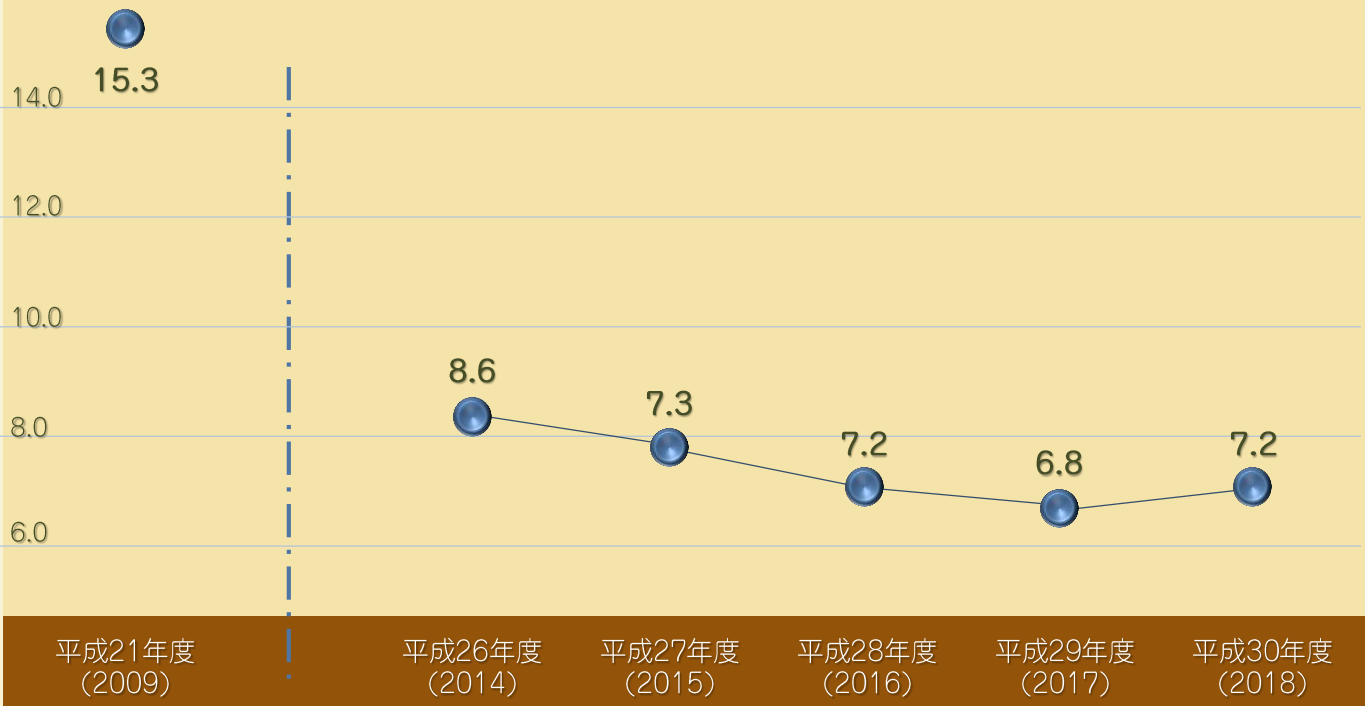


2008年、日本各地1万人の少年少女の手で集められた桜の種が、宇宙飛行士若田光一さんと共に、国際宇宙ステーション「きぼう」へ旅しました。この種を、東日本大震災の復興のシンボルとして植樹するプロジェクトです。

財政健全化指標

実質公債費比率

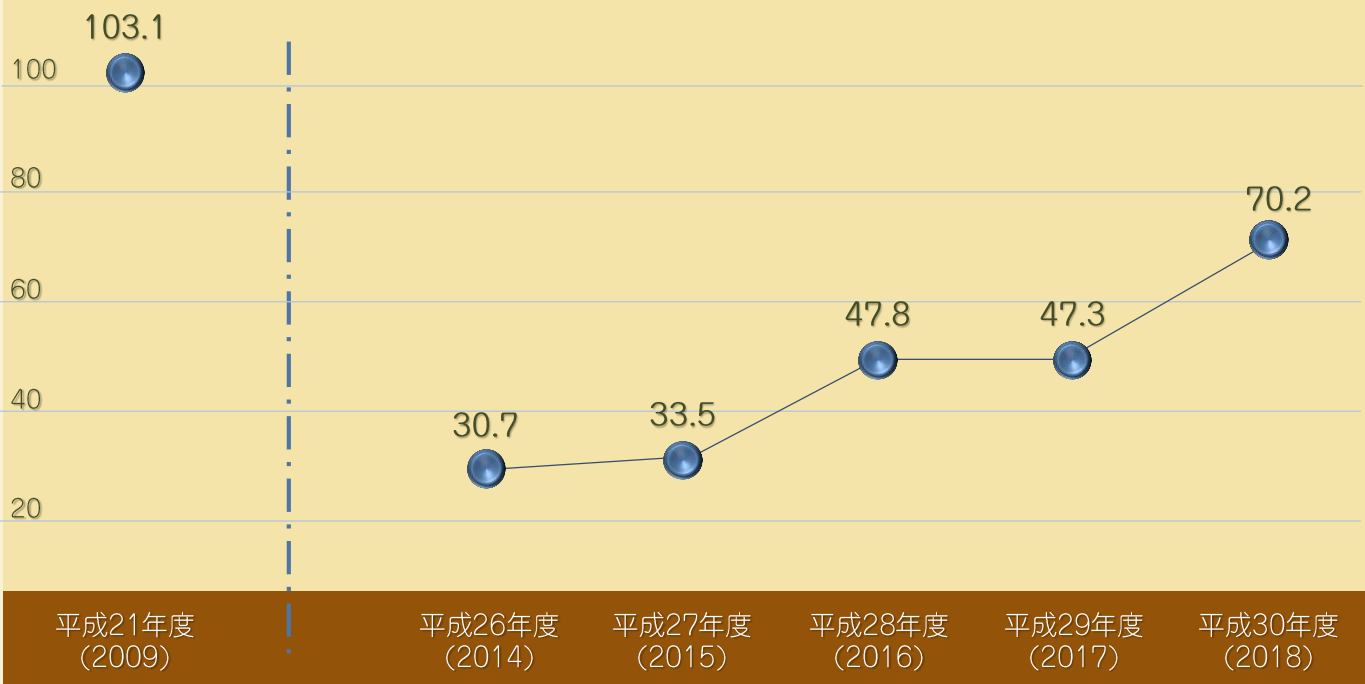
単位：％



実質公債費比率は、一般会計等が負担する地方債の元利償還金(町の借入金の返済金)などの標準財政規模に対する比率です。この指標が18%を超えると起債(借金)をする際に知事の許可が必要となり、25%を超えると一部の起債が制限されます。10年前(平成21年度)は15.3%、平成30年度は7.2%です。

将来負担比率

単位：％



将来負担比率とは、地方債や職員の退職金など、一般会計等が将来負担すべき実質的な負債の標準財政規模に対する比率です。この比率が高い場合、将来これらの負担額を実際に支払う必要があることから、今後の財政運営が圧迫されるなどの問題が生じる可能性が高くなります。10年前(平成21年度)は103.1%、平成30年度は70.2%です。

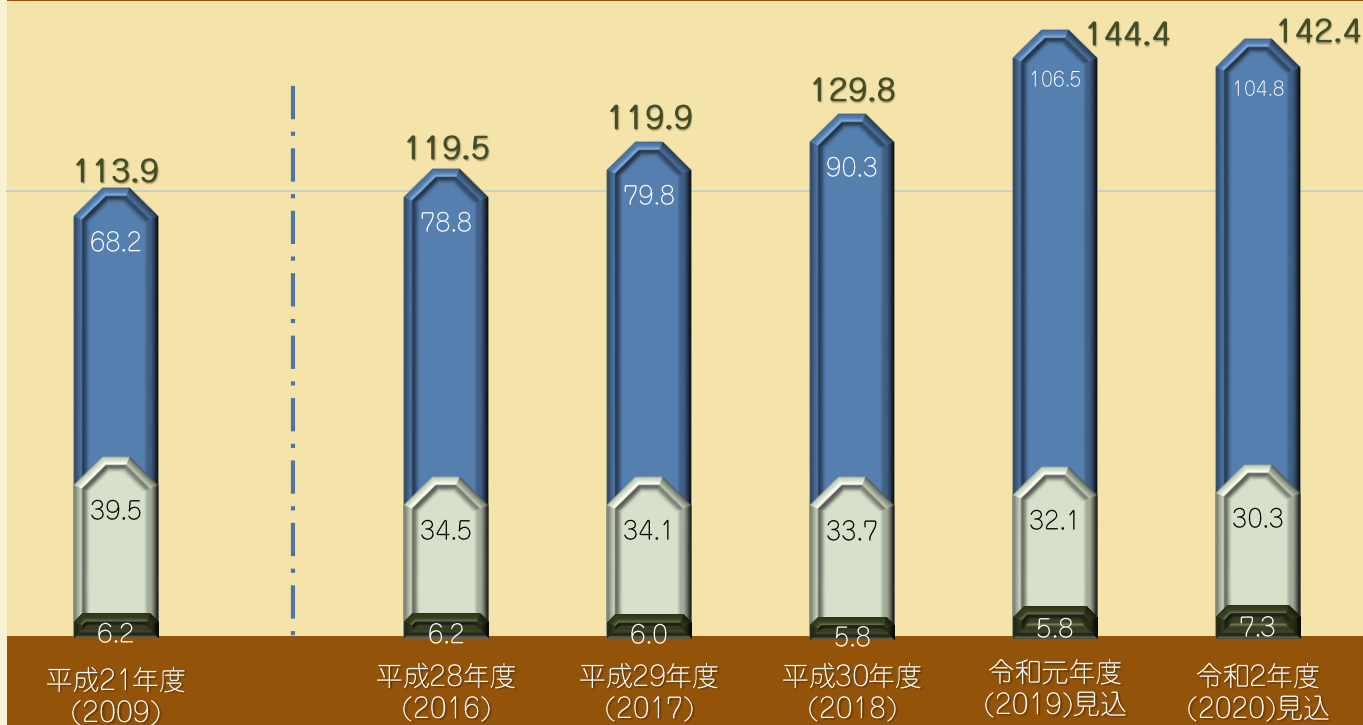
町債残高

一般会計

特別会計

企業会計

単位：億円



町債は、大きな事業をするときに、国などから借り入れる借金です。道路や建物などは、たくさんの方が利用することから、その年の予算だけで賅うのではなく、将来の町民の方にも費用負担いただく「負担の公平化」も、町債を発行する理由の一つです。10年前(平成21年度)は約113億9千万円。令和2年度は142億4千万円になる見込みです。

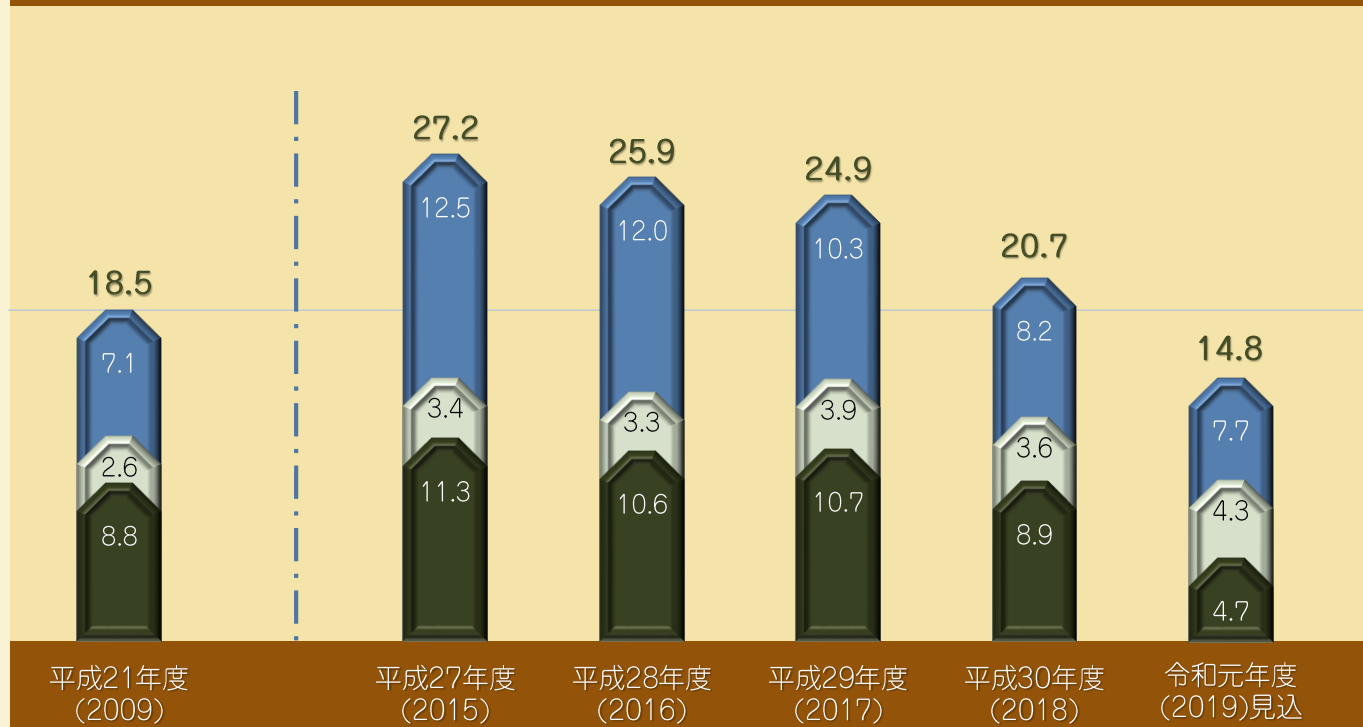
基金残高

財政調整基金

減債基金

その他基金

単位：億円



基金とは、特定目的のために財産を維持し、資金を積み立て、または定額の資金を運用するために設ける財産です。家庭で言えば貯金です。年度間の財源不足に備えるための「財政調整基金」、町債の償還(借金の返済)に必要な財源を確保し、財政の健全な運営を行うための「減債基金」などがあります。10年前(平成21年度)は、約18億5千万円。令和元年度は14億8千万円になる見込みです。

わかりやすい予算書
飯豊町 2020



〒999-0696
山形県西置賜郡飯豊町大字椿2888番地
TEL (0238)72-2111

飯豊町はNOP法人
「日本で最も美しい村」
連合に加盟しています



the most beautiful
villages in japan

飯豊町
山形県